

今回は、今から17年前に女生徒(2年)が書いた詩を紹介する。彼女は特別進学クラスの生徒でもあり、野球部のマネージャとして部員たちを支えていた。同クラスは進級する際に入れ替えがあり、彼女は同クラスに残るかを悩んでいた。そんな時に書かれたのがこの詩だ。

## 何でもできる人

何でも ヒョイヒョイ になしてしまう人がいる。  
たとえば、免状とスポーツ、仕事と人間関係など。  
そして、そういう人を目にする  
ついつい そうではない自分と比べて  
「あーあ、なんて。  
だけど(多分、だけど)  
努力しないで、何でもできちゃう人って  
世の中、そうたくさんいるもんじゃない。  
それに真になれているように見えても、  
実は、目につかないところでかまぼいていたり  
いろいろと考えていたりする、はず。  
そう、世の中にいる「できる人」といのは、  
見かけほどそんなに簡単に存在しないってこと。  
だからと比較して落ちこぼれたりしないか  
と心配するのは、できることから始めよう。  
そうするとしっかし間にか  
「ヒョイヒョイ、なせる人」になっているかもしれない